

南予の森林生き活き大作戦

宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町の1市3町からなる南予流域において、総土地面積の8割を占める森林を、間伐等の森林整備により、健全な姿で次世代へとつなげていくとともに、これら森林から生産される木材の利用促進を通じて、当流域における豊かな自然環境の保全や産業・経済・文化等の活性化を推進するため、南予流域林業活性化センターでは、**南予の森林生き活き大作戦**を展開することとします。

南予流域における森林・林業の現状

森林資源の現状

当流域の森林面積は、81千ヘクタール、総土地面積105千ヘクタールの77%を占めており、このうち民有林面積は、68千ヘクタールと、森林面積の84%を占めています。(図1参照)

民有林におけるスギ・ヒノキの人工林面積は、35千ヘクタール、民有林総面積の52%を占めており、その内訳は、ヒノキ38%、スギ14%となっています。(図1参照)

また、スギ・ヒノキ人工林の林齢別面積構成は、ヒノキを主体に、31年生から50年生の林分が大半を占めており、今後とも、間伐等の森林整備が必要です。(図2参照)

木材価格の推移

円高や外材輸入の増大等により、スギ・ヒノキの木材価格は、昭和55年に一時高騰したものの、その後は下落の一途をたどってきており、平成18年におけるスギ材の価格は、1㎡当たり11千円となっていますが、近年、外材の高騰に伴い国産材指向が高まってきています。(図3参照)

図1 森林資源の現状

土地利用の内訳 (総土地面積:105千ha)

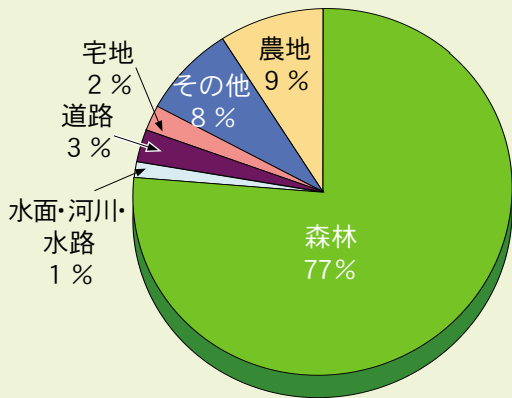
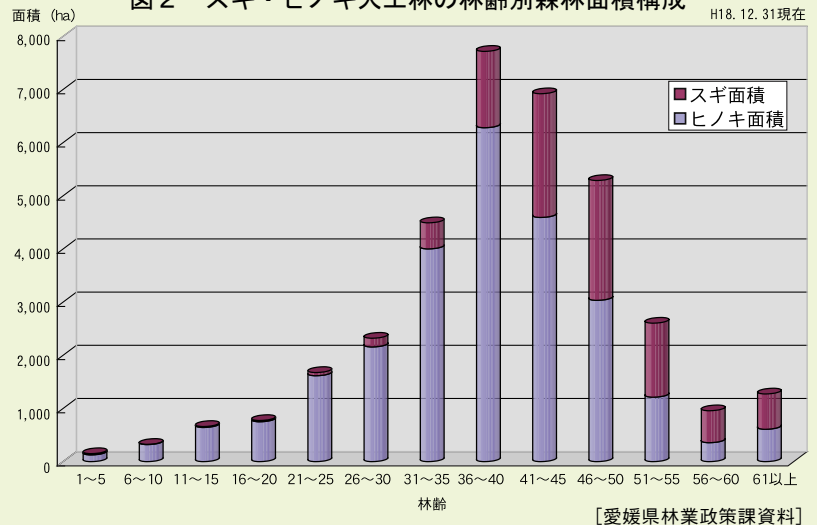
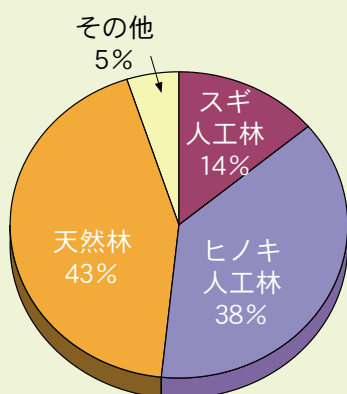


図2 スギ・ヒノキ人工林の林齢別森林面積構成

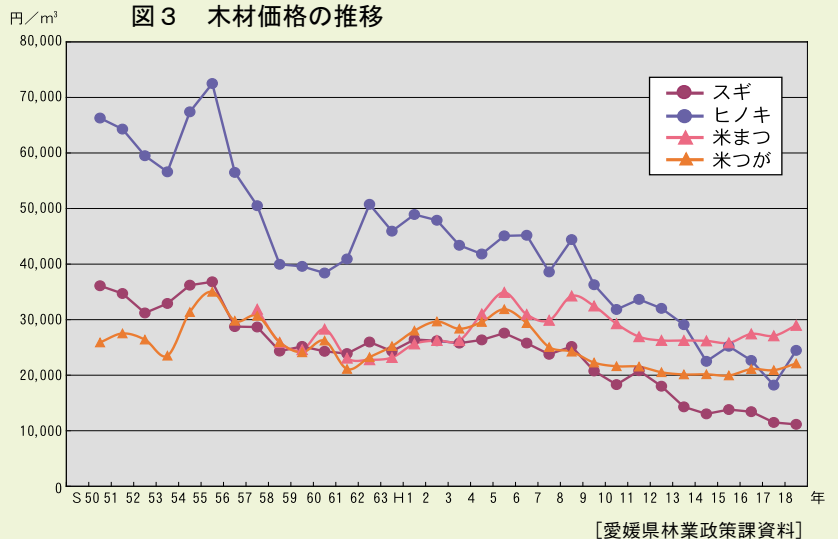


森林のうち民有林の内訳 (民有林面積:68千ha)



[平成18年土地利用現況調査]

図3 木材価格の推移

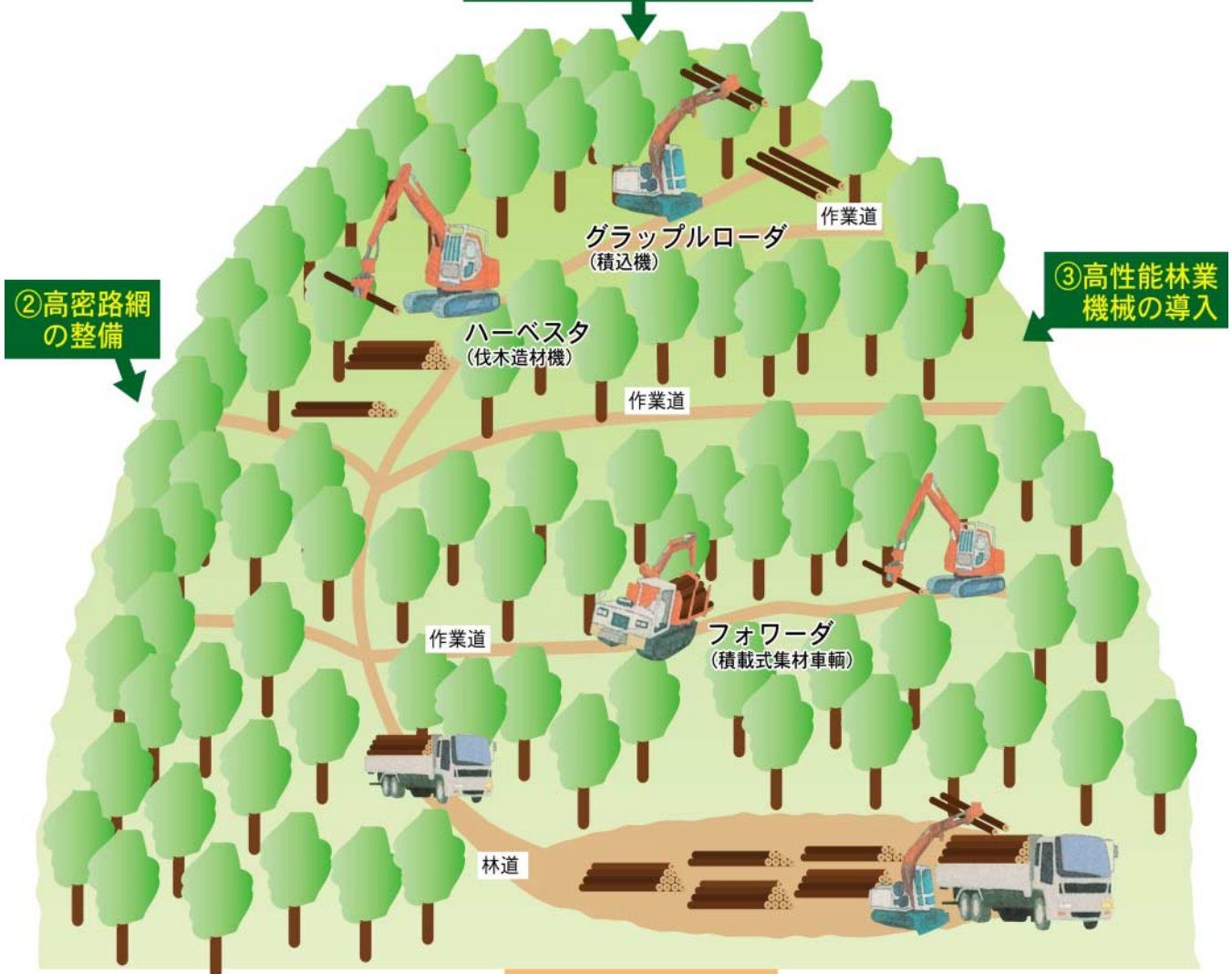


南予の森林生き生き大作戦で南予流域の活性化

南予流域の森林を健全に生かし、森林の恵みである木材を活かすため、まとまりのあるスギ・ヒノキ人工林を主体に、①施業団地（森林そ生推進団地）を形成し、この団地内において、②作業道等の高密路網を整備するとともに、③高性能林業機械を導入し、森林施業の集約化と効率化を推進することにより、生産コストの縮減と木材利用を促進する南予の森林生き生き大作戦を展開し、南予流域の活性化を図ります。

南予の森林生き生き大作戦

①森林そ生推進団地の形成



②高密路網の整備

③高性能林業機械の導入

健全な森林の育成と木材の利用促進による
南予流域の活性化

南予の森林生き生き大作戦の内容

施業団地の形成

森林そ生推進団地の形成

木材を低コストで安定的に供給するためには、高密路網の整備や高性能林業機械の導入が必要です。

このため、協議会や個別打合せ会を行うなどして小規模分散している森林を取りまとめ、ある一定の面的な広がりのある施業団地（森林そ生推進団地）を形成します。



施業団地形成のための打合せ

森林の現況把握

森林そ生推進団地において、間伐等、森林整備や木材生産を行うためには、森林所有者に施業プランを提示し同意を得る必要があります。

このため、適確な森林情報を提示できるよう、GPS（全球無線測位システム）等を使って境界調査や現地確認を行うとともに、木材の蓄積量、市場価格、施業コスト等の調査を行います。



GPSを利用した森林の現況調査

施業計画の作成・管理

計画的な森林整備や木材生産を行うためには、施業計画の作成、施業履歴の管理など、様々な情報処理を行うことが必要です。

このため、森林GIS（地理情報システム）を導入し、現況調査データ、地図情報、空中写真等、様々な情報を処理・加工し、これらデジタル情報を活用します。



森林GISによる施業の管理

木材の低コスト安定供給

高密路網の整備

木材生産のコスト縮減を図り、安定供給するためには、高性能林業機械の利用が不可欠ですが、この機械を導入するためには、作業道等の高密路網の整備が必要であることから、今後、森林そ生推進団地においては、1ヘクタール当たり200m以上の路網密度をめざします。

また、作業道は壊れにくく耐久性のあることが重要ですが、このためには、地形条件を考慮した線形、根株や不要木を利用した締め固め、路面水のかまめな分散・排水処理などが必要です。

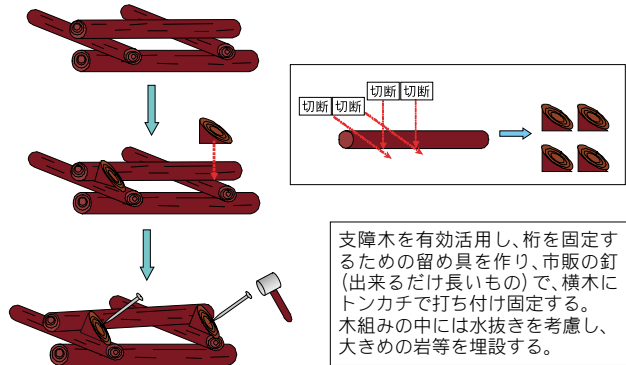


高密路網を整備して間伐施業

〔災害に強い作業道の開設事例〕



現地発生木材を利用した丸太組構造物



丸太組構造物の施工方法



バケットによる転圧



切土高を抑えた線形

高性能林業機械の導入

間伐施業等の現場において、立木の伐採（伐木）、林道・作業道等への搬出（集材）、枝払い・玉切り（造材）、トラック等への積載・運搬に至るまでの一連の木材生産について、労働の軽減や安全性を確保するとともに効率性を高めるため、高性能林業機械の積極的な導入を図ります。



ハーベスタによる伐木造材



ウインチ付きグラップルによる集材



フォワーダによる搬出

南予の森林生き生き大作戦の実現に向けて

南予の森林生き生き大作戦は、南予流域の森林、特にスギ・ヒノキ人工林が、木材価格の長期低迷等により、間伐等の施業が進まず未手入れ林分が増加していることに対処し、森林施業の集約化、効率化を推進し、健全なる森林の育成と木材利用を促進することにより、南予流域の活性化を図ろうとするものです。

この大作戦の実現のためには、施業団地の形成、高密度路網の整備等が必要であり、このためには、森林組合等、林業事業者や市町・県行政等、林業関係機関はもとより、森林所有者や地域住民の参加と協力が不可欠ですので、今後とも、ご理解とご支援をお願いします。

関係機関連絡先

南予流域林業活性化センター(事務局：鬼北町産業課内)
 〒798-1395 北宇和郡鬼北町大字近永800-1 TEL(0895)45-1111
 南予森林組合
 〒798-1333 北宇和郡鬼北町大字永野市221 TEL(0895)45-0814
 日吉森林組合
 〒798-1503 北宇和郡鬼北町大字上大野340 TEL(0895)44-2216
 南宇和森林組合
 〒798-4131 南宇和郡愛南町城辺甲1534-1 TEL(0895)72-1842
 宇和島市農林課
 〒798-8601 宇和島市曙町1 TEL(0895)24-1111

鬼北町産業課
 〒798-1395 北宇和郡鬼北町大字近永800-1 TEL(0895)45-1111
 松野町農林振興課
 〒798-2192 北宇和郡松野町大字松丸343 TEL(0895)42-1111
 愛南町農林課
 〒798-4196 南宇和郡愛南町城辺2420 TEL(0895)72-1211
 宇和島地方局森林林業課
 〒798-8511 宇和島市天神町7番1号 TEL(0895)22-3163
 宇和島地方局 愛南森林林業振興班
 〒798-4194 南宇和郡愛南町平城3048 TEL(0895)72-0931